

..... 編集後記 .....

◆ 今月号は、一般投稿原稿9編で構成しました。原稿内容は、中部日本の最初の地質図、水の特性と環境、知多半島の砂と砂浜、鉱石・岩石資料の受け入れと保管、GISを使った地質図(その2)、うしくサイエンスフェスタ出展、地質調査のパートナー(11)、それに書籍紹介2件です。

◆ 山田直利さんは、今から120年前に出版された坂市太郎の「飛驒四近地質報文」とその付図「飛驒四近地質略図」を紹介しています。これは明治初期にライマンのもとで近代地質学を学んだ日本人が自らの踏査に基づいて発表したもので、中部日本の山岳地帯を広くカバーした最初の地質説明書と地質図です。その内容の豊かさや高さおよびその作成経緯を知ること、日本における地質学の発達過程を理解する上で大変貴重です。

◆ 川幡穂高さんは、水と地球環境(その1)として水の特性と環境について解説しています。水や塩分の基礎的な物性を説明した後、海洋大循環、スノウボールアース、白亜紀の地球環境、ミランコビッチ サイクルなどのトピックについて解説しています。今話題となっている地球温暖化を考える上で、大変役に立つ解説です。

◆ 須藤定久さんと有田正史さんはシリーズ砂と砂浜の地域誌(13)として、知多半島を取り上げました。この半島では常滑焼の粘土や鑄物砂として使われる珪砂・山砂が産します。半島の北部の浜はすでに埋め立てられ工業地帯になってしまいましたが、南部はまだ自然の浜や磯が残されているとのこと。口絵も併せてご覧下さい。

◆ 清水 徹さんと青木正博さんは、金属鉱業事業団

(旧称)が海外調査で採取し、地質標本館へ管理換えした鉱石・岩石試料2万点について、その保管状況を報告しています。表紙の写真はその一試料です。

◆ 高橋裕平さんは、先月号の続報としてGISを使ったベクトル地質図の作成を紹介しています。具体的に手順を追って説明していますので、興味のある方は挑戦してみてください。

◆ 井川敏恵さんほかは、うしくサイエンスフェスタ2007に出展した「化石の粘土模型を作ろう」の実践記録を報告しています。

◆ 長森英明さんはシリーズ「地質調査のパートナー」で、魚沼ハンマーの特徴や使い勝手、ルーツなどについて紹介しています。

◆ 目代邦康さんは岡崎 務氏の「川の総合学習(1)川のはたらき」を、また、玉生志郎は蟹澤聰史氏の「文学を旅する地質学」を、それぞれ書籍紹介しています。

◆ 今月号の中で、古い地質図の紹介とGISを使った新しい地質図作成法とが紹介されました。手法は変化しても、地質図は地下を理解する上で最も基礎となるデータ集であることに違いはありません。これからも地質図をより高度化させながら着実に進展させる必要があります。今後とも、ご支援の程、よろしくお願い致します。また、読者の皆様からの原稿をお待ちしています。地質ニュースの投稿の手引き(<http://www.gsj.jp/Pub/News/tebiki/tebiki.html>)をご参照の上、ご投稿下さいませよう、よろしくお願い申し上げます。地質ニュースのこれまでの掲載原稿は、[http://www.gsj.jp/Pub/News/n\\_index/index.html](http://www.gsj.jp/Pub/News/n_index/index.html)でご覧頂けます。(玉生志郎)

地質ニュース編集委員会

委員長：玉生志郎

副委員長：吉田朋弘

委員：藤原 治・光畑裕司・高木哲一・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第639号	2007年	11月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748)	〒実費	
2007年11月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8	〒102-0073	
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	<a href="http://www.jitsugyo-koho.co.jp">http://www.jitsugyo-koho.co.jp</a>		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年(IYPE)に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。  
●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

©2007 Geological Survey of Japan